

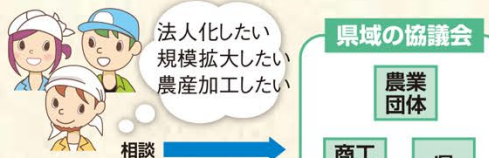


# 担い手通信



JA bank Mie

## 農業経営者サポート事業の仕組み



相談内容に応じ、適切な専門家を派遣



### 支援チーム

- |           |            |       |       |
|-----------|------------|-------|-------|
| 普及員、営農指導員 | 6次産業化プランナー | 6次産業化 | 技術指導  |
| 農業会議      | 経営コンサルタント  | 経営継承  | 法人化   |
| JAバンク、公庫  | 中小企業診断士    | 資金調達  | 経営診断  |
| 税理士・公認会計士 | 社会保険労務士    | 労務・人材 | 労務・法務 |

農水省が「農業経営者サポート事業」として、2018年度予算案に盛り込みました。農業経営の法人化などを支援する総合事業に17

年度比36%増の9億1000万円を充て、その内数で対応します。多様な経営課題に対応できるように、幅広い分野の専門家を派遣できる体制を各

県域で整えます。JA中央会や農業会議、農地中間管理機構(農地集積バンク)、県の普及組織といった

農業関連組織に加え、商工会議所など商工団体も加わって協議会を立ち上げ、経営の相談窓口を設置。相談窓口をどの組織に設置するかは各協議会に委ねられますが、JA中央会や農業会議、農地集積バンクなどが想定されます。協議会の各構成組織に係る専門家や、支援チームも組織します。営農技術を指導する県の普及員やJA営農指導員、経営分析を担うコンサルタント、資金調達の相談に乗るJAバンクや公庫担当者、雇用者の労務管理などを指導する社会保険労務士といった人材の中から、相談を寄せた農家の課題解決に必要な専門家を選抜し、派遣します。例えば農家が、イチゴの施

**農** 水省は、法人化や規模拡大、6次産業化といった新たな経営展開を目指す農家への支援体制を強化します。各県域で農業・商工団体と行政一体で経営相談の窓口を設置。そこでの相談内容を踏まえ、専門家や支援チームをつくり、農家に派遣します。1カ所の相談窓口で、幅広い経営課題に対応できる体制を整え、効果的、効率的な支援につなげます。

## Topic 今月の話題

# 専門家チームを派遣 経営多角化の支援強化 農水省

設栽培を計画した場合、施設建設に必要な土地や資金の確保や補助事業の活用、栽培技術の習得、経営計画の策定など、実現には多様な対応が必要となります。こうした各課題の解決を専門家チームが継続的に支援することで、農家の負担を解消します。

## 数字でみえる 三重県の農と食

900日以上

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

## 特産松阪牛の肥育日数

農水省の地理的表示(GI)保護制度に2017年3月に登録された「特産松阪牛」は、兵庫県産の子牛を三重県の松阪地域で900日以上長期肥育した未経産の黒毛和牛の事で、通常の松阪牛と比べ長く肥育する必要があります。松阪牛協議会によると、松阪牛全体の約4%(15年度実績)と非常に少ない割合となっています。



このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

JAいがほくぶ

畜産業に理解を 動物図画コン表彰

JAいがほくぶは2017年12月中旬、「第24回JAいがほくぶ動物図画コンクール」の表彰式を伊賀市の本店で開いた。今回は創立30年記念冬の感謝祭イベントの一環で開催。管内の小学校などから前年より50点以上多い490点の応募があった。その中から選ばれた16人を表彰。最優秀賞には、伊賀市立上野東小学校の荒堀花怜さんが選ばれた。コンクールは子どもたちが牛、豚、鶏をテーマに絵を描くことで、伊賀ブランド「伊賀牛」をはじめ、畜産業を理解してもらうのが目的。(2017/12/27 ワイド1東海)

JA全農みえ

おむすびの日 米、ご飯 大切さ訴え

みえの米ブランド化推進会議(事務局=JA全農みえ米穀課)は1月17日、「おむすびの日 県産米を食べよう!」企画を行った。「おむすびの日」に合わせ、JAビルや県庁の食堂では県産米のおむすびを提供。スーパーでもPRイベントを行い、米とご飯の大切さを伝えた。「おむすびの日」は、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災で、多くの被災者がボランティアによる炊き出しのおむすびで励まされたことから、米に関係する民間企業やJAなどでつくる「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」が制定した。(2018/1/18 ワイド1東海)

JA三重中央会

女性組織事務局 方向性を討議

JA三重中央会は2017年12月中旬、JA女性組織・新予約・助け合い組織事務局合同研修会を津市のJA三重ビルで開いた。JAの担当者ら22人が参加。各組織の課題への17年度の取り組みを共有し、18年度の方針を話し合うのが目的だ。中央会地域対策部の東元崇史部長が、JAの自己改革を踏まえた組織基盤強化の取り組みについて説明。その後、各組織に分かれてグループワークを行った。(2017/12/26 ワイド1東海)

「クラウドまるみえホカクン」  
配備で被害軽減を実証

野

生鳥獣の被害対策に、情報通信技術(ICT)を活用した檻や罠の遠隔監視・操作システムの「クラウドまるみえホカクン(1月号を参照)」を集中的に地域に配備し、捕獲した現地実証で、被害対策と併用することで、被害の軽減が確認された。

同機器を18基設置した伊賀市の実証地域では、1年でシカ200頭、サル430頭を捕獲しました。シカは防護柵の併用で大幅な被害の軽減(図1が

できます。サルは群れ単位の個体の管理が可能になることから、追い払いなどの被害対策の併用で被害発生集落を減らす(図2)ことが可能になります。

三重県農業研究所(研究担当 山端直人)現在、兵庫県立大学)では、被害対策と併せた捕獲計画、専任の組織や体制の構築で、被害軽減の効果は高まるとして、県や市・町、住民組織などが共有可能な計画を策定した上で同機器を導入することを勧めています。

図1 シカによる被害面積の変化

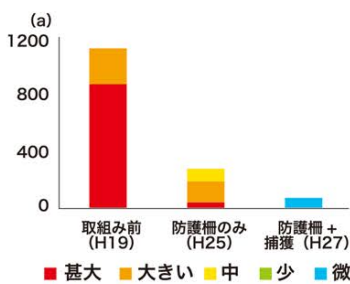
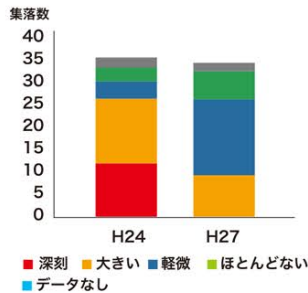


図2 サルによる集落被害の変化



お問い合わせ先 三重県農業研究所 地域連携研究課 ☎0598-42-6356  
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 ☎0795-80-5500

短期の運転資金が  
必要になった方に



今ならJAバンク利子補給制度により  
最大年1%の利子補給が受けられます。

スーパーS資金

農業経営改善促進資金

認定農業者向けの  
低利・便利な短期運転資金です

- 家畜等の購入資金
- 種苗代・肥料代・雇用労賃などに
- 農舎・畜舎の補修農業機械の修繕費

明日の農業を担うみなさまへ  
JAバンクは地域農業を  
応援します!

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。  
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>

平成30年1月現在



【金利情報】平成30年1月25日現在

農業経営資金

変動金利  
年1.00%

固定金利  
年1.50~2.00%

※上記の借入利率は、代表的な利率であり、JAによって異なる場合があります。適用利率等の詳細はお近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。

スーパーS資金

年1.5%  
(変動金利)